

## 大規模水素サプライチェーンの早期実現に向け 市長がオーストラリア・ヴィクトリア州を訪問します

世界的な地球温暖化対策としてカーボンニュートラルへの取り組みが加速する中、CO<sub>2</sub>排出量を削減する有力な手段の一つとして水素の利用拡大が求められています。こうした動きを背景に、日本最大の工業地帯である京浜工業地帯の中核を担う川崎市では、水素先進自治体として臨海部を中心にこれまで多数の水素関連プロジェクトを実施してきました。また、世界的な脱炭素化の動きの加速を踏まえ、令和4年3月に「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」を策定し、水素を軸としたカーボンニュートラルなエネルギーの供給拠点の形成等に向けて、官民が連携して取組を進めているところです。

この度、9月27日に本市と川崎重工業株式会社（代表取締役社長執行役員：橋本 康彦）は「カーボンニュートラル実現に向けた連携・協力に関する協定書」を締結いたしました。同社の協力により、市長が、川崎臨海部のカーボンニュートラル化に向けた重要なプロジェクトである、NEDO のグリーンイノベーション基金事業「液化水素サプライチェーンの商用化実証」における水素の製造・出荷地となっているオーストラリア・ヴィクトリア州を訪問し、水素の製造・出荷の現場を視察するほか、現地自治体との意見交換や会議への出席により、水素の出荷地側との関係構築を図ります。

### 1 訪問者

川崎市長 福田 紀彦 ほか本市職員3名

### 2 訪問スケジュール（予定）

10月7日（土）	羽田空港出発
10月8日（日）	ヴィクトリア州・メルボルン到着 日豪経済合同委員会会議出席、関係者との面談 等
10月9日（月・祝日）	メルボルン郊外の水素製造場所及び出荷港等の視察 現地自治体（Latrobe City Council, Mornington Peninsula Shire Council）関係者との面談 等
10月10日（火）	日豪経済合同委員会会議出席、関係者との面談 等
10月11日（水）	ヴィクトリア州・メルボルン出発、羽田空港到着

#### 【問合せ先】

川崎市臨海部国際戦略本部 成長戦略推進部 江崎  
電話 044-200-2095